

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和元年度第2回3市ごみ減量推進市民会議		
事務局 (担当課)	日野市ごみゼロ推進課、国分寺市ごみ減量推進課、小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和元年10月29日(火) 午前10時00分～		
開催場所	日野市東部会館2階会議室1・2		
出席者	委員	<出席者：15名> (学識) 宮脇委員長 (日野市委員) 伊地知委員・伊藤委員・小野寺委員・佐藤(美)委員 (国分寺市委員) 石垣委員・佐藤(幸)委員・宮寺委員・八ツ藤委員 (小金井市委員) 石田委員・林委員 (行政) 高尾委員長代理(日)・波岡委員(国)・小野委員(小) 井上委員(浅) <欠席者：2名> 波多野委員(小)、山田委員(小)	
	事務局	日野市：佐々木課長補佐 国分寺市：佐藤係長 小金井市：大久保係長・高田係長	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	2人
会議次第	開 会 1 委員紹介 2 挨拶 3 議 事 (1) 各グループからの中間報告 ① 減量グループ ② 情報グループ (2) その他 閉 会		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

<p>高尾委員</p> <p>宮脇委員長</p>	<p>開 会</p> <p>1 委員紹介 人事異動で小澤課長に代わり着任した日野市の高尾課長から挨拶</p> <p>2 挨拶 各グループで作業していただいている情報は随時報告をいただき、細かなところまで議論いただきありがとうございます。また、直前に送付されてきた本日の資料もよくまとまっていると思ひ見させていただきました。 気候変動で台風が多いことと、災害廃棄物が山積みになっていることも問題になっていて、資源化がしにくい状態になっているのが気になった。分別すれば資源化できるが泥がついて資源化しにくいようである。全国どこでも被害が発生することを感じた。 本日は各グループで討論していただいた内容について積極的にご意見をいただきたいと思います。</p> <p>傍聴者の有無の確認と入ることの承認 異議なし</p> <p>【議題1 各グループにおける中間報告と意見交換】</p>
<p>小野寺委員</p>	<p>(1) 減量グループ</p> <p>減量グループとしては、3市のごみ減量、資源化の取り組みについての提案を取りまとめさせていただきました。 サブタイトルとして「焼却ごみ削減に向けて」とした。 焼却ごみの削減に向けて、更なるごみ減量を進めていくにあたり、生ごみやプラごみ、紙ごみ、その他のごみなどごみの種別ごとに削減目標や削減策を検討していくことになることから、3市の直近と10年前のごみの量を把握した。 可燃・不燃は湿ベースの組成分析をもとに算出した。 資源化は資源ごみとして収集したものだけを資源化量として出している。(収集後の資源化(エコセメント等)は含まない) 生ごみ、プラ、紙ごみなどはほぼ同じ割合だった。 2ページ目は、ごみの種類とそれぞれの量を算出した。 今後の焼却ごみを削減するための目標設定をするための過去の変化を確認した。 各ごみの推移について説明(※資料を参照。記録は省略) 3ページ目は10年間の推移を2ページ目で比較したが、組成分析が誤差をかなり含んでいることから、時系列でのブレを確認するための資料を作成した。 目標について定め、新可燃ごみの寿命を30年として、30年後までに焼却ごみゼロを目指す。 一挙にゼロへもっていくことは難しいため3段階に区切った提案とし、10年後までに可燃ごみの半減、20年後までにさらに半減(4分の1)までもっていき、最後の10年でゼロに近づけていく提案としている。</p>

焼却ごみをゼロにするというのは唐突かもしれないが、各市でごみゼロということを掲げ、将来のビジョンとしているので、改めて確認ということとした。

搬入車両が増加することから、地元住民の方々は排ガス等の健康への影響の不安を抱えている方もいることから、このような不安を解消するためにも焼却ごみをゼロにしていくことが重要と考えている。

何をどのくらい減らせば10年後に半減できるかについては、最終ページの資料をもとに説明を行う。

10年前に比較して可燃ごみは大幅に減少しているが、生ごみは3市で約1.5万トンのごみが発生している。

約8千トン規模の生ごみ処理施設による処理と、自家処理により千トンの減量策を進めていく。小金井市では約2,500世帯が自家処理しているのではないかと推定し、日野市・国分寺市の合計で2,500世帯が自家処理しているのではないかと推定し、これから10年間で倍増させていく計画を立てている。施設での資源化を進めても、各家庭でたい肥化などをすることもあると思うので、自家処理は残していくことになると思う。

プラごみは日野市が来年1月から全量資源化を始めることから、約4千トンは資源化できるのではないかと考えており、更なる分別・発生抑制で5千トンの減量を図りたい。

その他紙ごみなども含め減量の目標を掲げている。過去の推移だけでなく、さらに減量していくための施策を検討した。

10年間で半減は突拍子もないことではなく、町田市では基本計画を策定し10年間で焼却・埋め立て40%減を掲げ、生ごみのバイオガス化やプラごみの資源化などで減らせる計画としている。施設の稼働が2020年1月まで延びたが計画は進んでいる。鎌倉市ではごみを3分の1の量を減らすとして、生ごみと紙おむつを資源化するとの目標としている。そのほかにもゼロウェイストを掲げている各市町などでも10～20年でごみゼロを目指すテーマを掲げている。

5ページ以降は具体的な取り組みを掲げている。

市民のモチベーションを上げていくことは永遠の課題ではあるが、地球温暖化、食品ロス削減、海ごみの問題、資源消費抑制、ライフスタイルの変換を訴えていく。

今まで行っていない新たな取り組みとして、生ごみの資源化を掲げ、ここでは推進していくための会議を設置して検討していくことを提案する。計画が進まないことも多いことから、早い段階で会議を設定して進めていくことが必要と考えている。生ごみの処理方法についてもいくつかの処理方法があるが、ここで事例を掲げている。たい肥化はたい肥の受け入れ先確保が難しい、飼料化は異物の混入から難しいため除外した。湿式バイオガス化やHDMシステムのメリット、デメリットの細かな検討は会議で行うほうが良い。湿式は生ごみからガス化を行うが、乾式は生ごみ、紙ごみ、剪定枝を選別し、メタン発酵させガス化するものである。乾式の特徴は紙ごみや剪定枝もガス化できることで、町田市が導入するものである。湿式は生ごみのみをメタン発酵させる方式だが、施設の必要面積が少なく済むというメリットはある。HDMシステムは熊谷清掃社が開発したが、木くずに菌を吹き付け、生ごみを発酵させるもの。イニシャルコスト、ランニングコストがガス化施設の10分の1程度でできるメリットはある。いろんな菌を使用しているので発酵速

	<p>度は速い。</p> <p>難点は、臭気が外に漏れると都市部では難しいとの感想を持った。</p> <p>これらの処理施設は、建設場所の問題が一番の課題である。新たな施設を作ることもあるが、近郊の民間施設の活用も有効な方法である。</p> <p>羽村市にバイオガス発電施設を建設中で規模も大きいので、3市の生ごみを持ち込むことはできるのではないかと思う。八王子の民間施設は臭気問題で稼働が停止しているが、経営者が変わって再稼働を目指していると聞いている。</p> <p>もうひとつ新たな取り組みとして紙おむつの資源化がある。現在はペレット化と水溶化があるが、取り組み事例は少ない。</p> <p>また、紙おむつから再度紙おむつを作る技術開発も進んでいるが、実用化にまでは至っていない。</p> <p>7ページ以降は従来の取り組みの強化を掲げている。</p> <p>今後のグループでは、3市それぞれが目標を達成していくかということと、現在の取り組みの強化を推進していくための体制などが検討課題と考えている。</p>
宮脇委員長	<p>それでは、ただいまご説明をいただいた内容についてご質問やご意見などがございましたら願います。</p> <p>補足や追加の提案なども願います。</p>
宮脇委員長	<p>資源化量について、あえて収集後の資源化量を除いたのには理由があるのか。</p> <p>市民の分別度を見たいなどの理由があるのか。</p>
小野寺委員	<p>収集後の分別は市民には見えない。計算上も可燃・不燃・資源物でダブルカウントになり、ややこしくなってしまう。</p>
八ツ藤委員	<p>細かな資料ありがとうございます。</p> <p>可燃ごみの中で生ごみを減らすのがポイントと思うが、各市とも生ごみだけの分析や可燃ごみの割合などは現実に把握していないと思うが、ここでの数値はどのように出しているのか。</p>
小野寺委員	<p>1ページ目の資料を見ていただき、可燃ごみの量が出ているが、湿ベースの組成で小金井市のデータがないため、湿ベースへの換算で出した割合があり、その割合を乗じて算出している。その他の種類についても同じである。</p>
林委員	<p>組成分析がサンプルチェックのため、本当にこの割合なのかということ個人に感じている。紙ごみの割合が多すぎるように思う。自分の出すごみを考えると紙がここまで多く混入しているとは思えない。</p> <p>従来の取り組みの中でもっとやるべきことがあるのではないかとと思う。紙は意識していれば資源で出すことは難しいことではない。組成で半分近い数値には疑問がある。たまたまの数値ではないかと思う。</p> <p>分別をすれば可燃ごみはもっと少なくできるのではないかと思う。重量ベースでいけば生ごみが多いのではないかと思う。その生ごみを減らせば大幅に減となると感じる</p>

小野寺委員	組成分析では事業系ごみも含まれていることから、事業系ごみは紙ごみが多いと思う。
林委員	先日事業系ごみの組成分析に立ち会ったが、確かに事業系ではシュレッターした紙ごみが多かった。
小野寺委員	事業系では紙ごみが多く、スーパーなどでは生ごみが多い。事業系は約半分が紙で半分は生ごみが多い。
林委員	シュレッターしていなければ資源として出せるのではないか。そういう働きかけをすれば減量につながる。
八ツ藤委員	シュレッターした紙ごみは国分寺では資源として処理している。
林委員	小金井市はどうなっているか。
事務局	小金井市でも資源としている。
林委員	先日の事業系ごみには、多くのシュレッターごみが含まれていた。
事務局	事業系ごみは分別が徹底されていないかもしれない。 補足で小金井市では乾式を湿式にしていることの影響が大きい。今年度基本計画策定の中で湿式の調査を実施しており、その中では割合は異なっている。
宮脇委員長	組成分析はどこまで詳細に行っているかという問題もある。 パッカー車によって組成も変わることもある。最終的には200kg程度で分析をしているので、正確ではない。私も紙ごみの割合が多いと感じた。湿ベースでそろえれば、割合などの数値も近くなるのではないかと思う。
石垣委員	収集した地域の年代によって組成も大きく変わってしまう。小さい子供がいると紙を使って落書きなどをしたりして、燃えるゴミで出してしまうこともある。 資源で出せることをしっかりPRしてあれば出すかもしれないが、出せることを知らないで可燃ごみに入れてしまう方も多と思う。
小野寺委員	組成分析はごみピットで攪拌したものを採取しているので、平均値となっている。
八ツ藤委員	国分寺市は5地域からのごみを集めて実施。年1回でやっている。
小野寺委員	ごみピットから数回に分けて出す方法が主流だと思う。 必ず前回のデータと比較して、ブレが大きいときはやり直すなどを考えてほしい。
佐藤（美）委員	組成の各市の差は組成分析の誤差と思うが、出てきた数字の差が大きいと何かあったのかと思ってしまう。

小野寺委員	過去のデータと見比べても無茶苦茶な数字ではないと思う。
林委員	小金井市では生ごみの割合が大きく減少しているので、帰って調べてみたいと思う。
小野委員	枝木の資源化が900tくらいあるので、それが大きいと思われる。
事務局	枝木は申込制だったものを戸別収集に切り替えたことで、可燃ごみから資源に変わったと思われる。
伊地知委員	人口の推移はどうか
小野寺委員	3市ともにまだ増加している。
佐藤（美）委員	事業系ごみの割合が分かれば教えてほしい。 飲食店はごみを一緒にして可燃ごみにしているように感じている。 事業系の努力が入っていないので、施策で検討してほしい。
小野寺委員	事業系の対策も必要と思う。
佐藤（美）委員	できれば調査をしてほしい。
小野寺委員	日野市では事業系を分けて組成分析をしていたのではないか。
事務局	日野市の組成分析はピットからの採取となっており、事業系は許可業者の抜き打ち検査などで確認をしている程度である。 基本計画策定時にはエリアで駅周辺と住宅地の収集車ベースで実施した。
宮脇委員長	基本計画の中で日野市では事業系の排出者指導などを掲げており野放しにはなっていないと思う。 その他なければ一旦次の発表とさせていただく。 最後に意見などを聞く時間を設ける。
八ツ藤委員	(2) 情報グループ 資料を見ていただき、5月から3回グループ会議を実施。各会議の内容について、1回目では協定書を参考に情報Gの目的や役割などを確認し、今年度のスケジュールを確認した。委員の情報共有のために、これまでの取り組みなどを事務局にまとめていただき、説明を受けた。 3市発行のごみ情報誌など2年分を配布し、実際の発行形態や内容などを確認した。 何を情報すべきかなどの話し合いをした。各市の状況の資料は本日の配布資料にあるので、見ていただきたい。 2回目では新施設の建設の情報を共有するため、日野市の市民説明会の質疑内容をHPから抜粋、配布して経緯を確認した。

	<p>地元のご意見などの把握に努めた。</p> <p>次に資料を踏まえながら新施設建設に関する現状認識を話し合い、①市によって情報発信量のバラつきがあり、日野市は地元ということで丁寧に情報が公開されているが、2市は節目ごとに情報発信しているが事務的な扱いと感じた。②新施設の進捗状況などが分かりにくい。③新施設周辺の状況などは、国分寺市や小金井市にはほとんど知らされていないので、市民意識にばらつきがあるということが現状認識として挙げられた。次に今年度の情報発信についての検討を行った。</p> <p>その結果、各市でゴミ情報誌を発行していることから、3市共通の特集記事掲載を3市に提案することとした。</p> <p>情報提供する内容は、①新施設建設の目的、施設概要、運営体制、周辺の皆様への感謝を3市市民の共有化を図る②本格稼働を契機に3市共通の目的として、更なるゴミ減量の推進、機運を盛り上げることを掲載目的として掲げている。</p> <p>また、施設の名称について正式名称は決まっているが、通称でもいいのでなじみやすい名称を検討すべきとの意見が出されたが、所掌事項にないことから、今回は検討を見送った。</p> <p>3回目では本日提案する内容を検討し決定した。</p> <p>また資料の最終確認を行った。新施設の見学等について意見交換を行おうとしたが、組合からの説明を受けて検討していくことにした。</p> <p>3月15日に特集記事を掲載することから、1月末までに3市に提案をしていきたいと考えている。新施設の見学等について計画を確認して市民目線で意見をまとめて提案をしていきたい。来年1月までに2回開催して検討内容をまとめていきたい。</p> <p>次の資料は提案となるので、全体会で提案するものである。</p> <p>各市によって情報内容、量に差があるため、市民の十分な理解と更なるゴミ減量の取り組みが必要なことから、市報など全戸配布される媒体で情報提供を行うものである。2つの目的を掲げて掲載を行う。</p> <p>各市の特集記事として1ページを使って情報提供を行う</p> <p>各市のゴミ情報誌は、日野市は5月、10月の年2回、国分市は3月と10月の年2回発行、小金井市は年4回市報に折込んで発行されているので、同じ時期に発行していきたい。また、HPなどを使って記事を掲載したり、ゴミ分別アプリなども活用していく。時期は3月15日号で統一することについては、日野市のみ特集記事発行がずれているが同時期に発行をしてもらいたいと考えている。</p> <p>内容は、面構成は各市で行うが、統一感のある記事掲載を行う。</p> <p>7つの項目のうち、同じ記事となるものと各市で内容が少し異なるものに分類して検討していく。</p> <p>3市長メッセージを同時掲載することを提案したい。</p> <p>また、市民会議として市民目線でのメッセージも発信したい。</p> <p>市民会議のメッセージは小委員会で検討してメール等で全委員に提案内容を見ていただくことで、全体会議前に決定をしたい。</p>
宮脇委員長	説明に対するご意見・ご質問があればお願いします。
宮脇委員長	市民の関心度に差があるとの話だったが、どのあたりかそのように感じたかを教えてほしい。

八ツ藤委員	市が発行する情報誌の内容、回数などから感じたものであり、市民調査を実施したものではない。
石田委員	3市の市長が同時に掲載をすることは、効果は大きいと思うが、内容によっては逆効果も考えられる。 行政としてはどのように考ええているのか意見を聞かせてほしい。心配が大きい。
八ツ藤委員	石田委員のご意見も踏まえて提案書を作成した。協定書にはこの市民会議の取り組みを行政施策として努めるとなっている。ここで賛同を得られれば提案をさせていただき、各市で検討をしていただければと考えている。行政で同時掲載がいいかは委ねるしかないと考えている。
宮脇委員長	市民目線でいいと感じて盛り込んでいるので、すべてができるわけではないが、できること、段階にできることを考えていただくということだと思います。
林委員	掲載内容は3市の市長がそれぞれのメッセージを出すということだったり、連名で出すということもあると思う。
石田委員	連名で出せば心配も解消される。
八ツ藤委員	連名も提案として入れることでどうかと考える。
林委員	我々が提案をしなくても3市で考えて行うことではないか。
八ツ藤委員	逆に我々の提案を受けて実施してもらいたいと思っている。だから、共通の記事にすることで市民も感じてもらえると思う。すべてを折込めなくても、できる限り取り上げてもらいたい。
宮寺委員	方向付けはいいと思うが、枠にはめてしまうことがどうかということもある。 各市独自で市民周知を図ることがよいのではないかと。 地域に掲示板が多くあると思うが、地域の住民を動かすためには自治会や子供会などの諸団体を喚起させるために、ポスターなどの掲出も有効的ではないか。当面はポスターで目に見えて訴えることも重要ではないかと思った。
小野寺委員	3市の市長がそれぞれ市民に向かって発するのではないかと一般論的にどうかという考えからも連名が有効ではないかと思う。 なぜ広域化となったのかというそれぞれの市のスタンスがあるので、そのことを伝えなければならない。それぞれの市民に何をすべきかを訴えるにも、効果がなくなるのではないかとすることを考えれば連名もどうかとも思う。
林委員	今の話を聞いて連名案撤回したい。

宮脇委員長	<p>対象者をどうするかによって中身が変わることもあるが、3市の市長が3市の市民に向けて発信することで、連携の意思を強調することもできるのではないかと考えられる。</p> <p>提案内容に書いていただいて、3市で相談していただければよいと思う。</p> <p>時期についても提案をして3市で検討してもらえればよい。</p>
八ツ藤委員	<p>書面で全体会の名前で出したほうが良いのか。</p>
事務局	<p>小委員会で本日のご意見などの反映なども検討し、次回の全体会で提案していただくことになる。市民会議から3市に提案をしていただくことを考えている。</p>
八ツ藤委員	<p>次回全体会では、記事の掲載が間に合わなくなるのではないかと考えている。</p>
事務局	<p>その点は承知している。そのため、1月末までにはメール等で委員とのやり取りをしながら、最終提案内容をまとめ上げていただくことを考えており、そのために年内をめどに小委員会で最終案をまとめていただくことを想定している。その後再度全委員に意見を聞き、軽微な修正等を加えて最終提案とすることを考えている。</p>
八ツ藤委員	<p>今日の全体会でOKと考えていいのか。</p>
宮脇委員長	<p>ただいまご提案のあった特集記事を出すこと、内容案について、メールでやり取りをしていくことについて確認をさせていただきたいが、3市でそろえていくことにご異議があれば発言をしていただく。個別の内容は幅を持たせて大筋では現段階ではよろしいでしょうか。</p> <p>全員で承認したということによろしいでしょうか。</p> <p>【意見なし】</p>
林委員	<p>減量グループの4ページの表5で個別の削減目標を掲げており、分別の徹底と記載されているが、分別の徹底がキーワードだが、これまでもやっているが達成できていない。これをキーワードとして重点的に取り上げていきたいと考えている。少し分別の徹底を議論できるように見直しをしてほしい。</p>
小野寺委員	<p>3市共通で検討しているが、これをどのように3市に落としていくのか、分別の徹底についてはどのように具体的に進めていくのかについてこれから議論を重ねていきたい。</p>
宮脇委員長	<p>数値目標達成のための取り組みについて、減量グループで話し合っただけだと思える。</p> <p>それでは次に進める。</p>
事務局	<p>浅川清流環境組合における施設見学について、情報Gから話をしてもらいたいとの要望を受けた。施設内容は建設を行っている事業者からの</p>

	<p>提案に基づき、組合が協議して決定をしている。ソフト面については、来年本格稼働後に実際に施設見学を行った後に更なる情報提供すべき内容などを検討し、提案をしていただければと考えている。本日は現時点で出すことができる情報を用意していただいているため、質問等に答えられないことも多々あるが、今後の検討のため情報提供していただくものである。ご理解をお願いします。</p>
井上委員	<p>資料の平面図はH29年11月発行の組合ニュースに掲載したものである。</p> <p>組合ニュースではカラーで見やすので、またご自宅でご確認をお願いします。</p> <p>各フロアの施設見学の概要を記載している。予約なしで見学できることを想定し、タブレットを貸し出して一人でも見学できるようにしていく。ただし、学校などの見学は職員が随行して説明していく。また、個人のスマートフォンなどでも閲覧できるようにしていく予定。</p> <p>5月連休明けから見学受け入れ開始を予定している。</p> <p>団体は予約制で職員が随行し、ビデオを見てから施設見学を行う。</p>
佐藤（美）委員	<p>ビデオは作成済みか。</p>
井上委員	<p>まだできていない。検討をされていて5月までに間に合う。</p>
八ツ藤委員	<p>小委員会で要望事項をまとめたので、また説明をお願いすることになると思う。よろしく願います。</p>
林委員	<p>燃やしてはいけないものなどの展示は考えているか。</p>
井上委員	<p>内容等を検討しており、学習として必要なものは考えていきたい。</p> <p>展示などのソフト面は多く確保している。皆様にもご活用いただければと考えている。</p> <p>ハード面の変更は難しいことはご理解いただき、組合側にお任せいただき、ソフト面でのパネル展示などは柔軟に対応できるようにしているので、ご活用いただきたい。</p>
宮脇委員長	<p>次の議題をお願いします。</p>
事務局	<p>本日出された意見を次回全体会までに小委員会を開催していただき、意見の反映等のご検討をお願いします。後半の小委員会は2回を予定しているが、年内に最終報告をまとめ、全委員に再確認をし、そこで出た意見の最終反映や軽微な変更を小委員会で行い、最終提案をまとめていただき、次回令和2年2月18日（日）午後2時からの全体会で発表していただく。</p> <p>年内開催の小委員会の開催について決めていただければと思う。</p>
宮脇委員長	<p>これですべての議題が終了したので、進行を事務局に戻す。</p>
事務局	<p>これで終了とさせていただき、各小委員会で次回の会議日程と会場とする市を決めていただきたい。</p>

	閉 会
--	-----